

さいたま市鉄道編・正誤表

※本の内容に誤りがありました。謹んでお詫び申し上げますとともに、ご訂正をお願いいたします。

↓「行」の数は本文の行数で、見出しやキャプション等は含みません。

| 頁 | 行 | 誤 | 正 |
|--------|---------|---|---|
| (目次裏面) | | 「さいたま市内の鉄道網」の図内に記載された岩槻駅の位置が誤っている。 | 正しくは、地図中の東武野田線の「野」の文字がある付近に所在(正しい図を末尾に記載) |
| (目次裏面) | | 「さいたま市内の鉄道網」の図内) | 埼玉新都市交通伊奈線 |
| 3 | 2 | 埼玉新都市交通伊奈線 | 第一区線は高崎線、 |
| 8 | 4 | 第一区線は上信越線、 | 1881年4月29日 |
| 10 | 4 | 安ンス能ハス | 安ンスル能ハス |
| 11 | 3 | 天保12(1841)年2月20日 | 天保12(1841)年12月20日 |
| 11 | 23 | 塩釜(現・塩釜港)間が | 塩竈間が |
| 12 | 18 | 翌95年3月であった。 | 1896年4月であった。 |
| 18 | 28 | 職工数も1897年の | 職工数も1894年の |
| 22 | 注(2) | 726~727頁 | 725~726頁 |
| 24 | 12 | 始発は5時30分、終電は20時20分で、1日に往復30回の電車が運行していた。 | (削除) |
| 24 | 27 | 埼玉県下で電灯がとったのは、これが最初であった。 | (削除) |
| 24 | 29 | 1904年4月には | 1907年4月には |
| 48 | 5 | また東京~宇都宮間にも馬車が運行するようになったが、いずれも浦和、大宮を経由した。 | また東京~宇都宮間にも馬車が運行するようになった。 |
| 48 | 7 | 人力車で2時間、30銭を要したという。 | 人力車で2時間半、1円30銭を要したという。 |
| 63 | 9 | 与野町の代議人と副戸長らは、 | 与野町の正副戸長及び代議人らは、 |
| 70 | 20,21 | 川口~岩槻間 | 川口~春岡村宮ヶ谷塔間 |
| 78 | 6 | 飯田町~新宿間 | 飯田町~中野間 |
| 82 | 22 | 1933年に浦和町が鉄道省に対して次のような陳情を行うに至った。 | 1931年に埼玉県が鉄道省に対して次のような意見書を提出するに至った。 |
| 88 | 注(14) | 「東北線列車浦和駅停車場意見書」 | 「東北線列車浦和駅停車場意見書」 |
| 96 | 17 | 1924年4月の | 1925年4月の |
| 99 | 7 | 務めて | 勤めて |
| 107 | 注(1) | 1924年4月 | 1925年4月 |
| 107 | 注(2)(3) | 1925年12月 | 1926年12月 |
| 110 | 10 | ムサン産業 | ムサン産業(撤退当時はムサン食品) |
| 139 | 1 | 奉天市(現・瀋陽市) | 奉天(瀋陽) |
| 142 | 13 | 更ニ八高線ニ | 更ニ之ヲ八高線ニ |
| 142 | 17 | 大宮駅から川越駅を経て | 大宮駅から川越を経て |
| 143 | 7 | 川越鉄道 | 川越電気鉄道 |
| 144 | 6,10 | 我孫子市ヨリ | 我孫子ヨリ |
| 144 | 15 | 新たなる | 新なる |
| 144 | 18 | まず37年7月に大宮~川越間が開業し、 | (削除) |
| 144 | 19 | 40年7月に高麗川までの全線が開通した(18)。 | 40年7月に大宮から高麗川まで全線が開通した(18)。 |
| 145 | 4,10 | 野田駅 | 野田町駅 |
| 145 | 6 | 利根運河 | 江戸川 |
| 145 | 9 | 千葉県臨時県議会 | 千葉県臨時県会 |
| 146 | 3 | 野田駅 | 野田町駅 |
| 146 | 9,14,16 | 千葉県我孫子市ヨリ | 千葉県我孫子ヨリ |
| 146 | 16 | 埼玉県大宮市ニ至ル | 埼玉県大宮ニ至ル |
| 146 | 22 | 出来ルノデアリマシテ | 出来ルノデアリマシテ、 |
| 146 | 23 | 運輸経路 | 運輸系(ママ)路 |
| 147 | 1 | (次ニ申述)ベナスル所ノ | (次ニ申述)ベマスル所ノ |
| 147 | 2 | 経路 | 系(ママ)路 |
| 147 | 12 | 野田~大宮間 | 野田町~大宮間 |
| 148 | 14 | 空堀及食塩ノ | 空堀及食塩等ノ |
| 158 | 注(9) | 「川越線建設に付き協力依頼状」 | 「川越線建設に付き協力方依頼状」 |
| 158 | 注(10) | 『大宮市史』第4巻、1982年、554頁。 | 「あす川越線開通式」、『読売新聞』埼玉版、1940年7月21日。 |
| 159 | 注(35) | 403~404頁 | 611~612頁 |
| 160 | 11 | 所要熱量 | 所要熱量 |
| 168 | 29 | 全面電車化 | 電車化 |
| 172 | 16 | 中距離電車129本 | 中・長距離電車129本 |

| | | | |
|-----|-------|---|--|
| 173 | 19 | 全面立体化 | 立体化 |
| 177 | 3 | 流鉄流山線を越えて | 流山電気鉄道流山~馬橋間を越えて |
| 183 | 29 | 同月に | 8月に |
| 184 | 10,15 | 第一デパート | 大デパート |
| 197 | 24 | 地上5階・地下1階で | 地上5階で |
| 200 | 12 | 大宮民衆駅の改築工事 | 大宮民衆駅の新築工事 |
| 200 | 12 | 1966年6月に | 1966年8月に |
| 222 | 18 | 十条 | 東十条 |
| 222 | 23 | 上野駅では15番線(上越新幹線開業後は6番線)、大宮駅では7番線と発着ホームが限定され、乗り換えの際のルートも一般のルートとは区別されていた。もちろん、新幹線特急券を所持していない場合は乗車できず、 | (削除) |
| 231 | 14 | 交通博物館誘導準備委員会 | 交通博物館誘導準備委員会 |
| 233 | 21 | 1883(明治16)年3月の | 1885(明治18)年3月の |
| 243 | 15 | 途中駅で普通列車の退避ができないため、現在のところ緩急接続は行っていないが、 | 急行列車による普通列車の追い抜きは、ごく一部が岩槻駅で行っているに過ぎないが、 |
| 246 | 12 | 1988年 | 1989年 |
| 249 | 25 | 共和埼玉銀行(現・埼玉りそな銀行) | 協和埼玉銀行(現・埼玉りそな銀行) |
| 251 | 27 | 5万3000人 | 約4万7000人 |
| 254 | 7 | 武州鉄道(1923~38年) | 武州鉄道(1924~38年) |
| 259 | | (年表の1988年 昭和63年 7月) | (削除) |
| 259 | | 大宮操車場跡地へ政府機関移転決定 | (年表に、1989年 平成元年 8月を追加し、)大宮操車場跡地へ政府機関移転決定 |
| 260 | | (年表の2004年 平成16年 2月 16日) | 大宮移転 |
| 275 | | 大宮市移転(索引「し」の語句)十条 | (削除) |
| 277 | | (索引「な」の語句に追加) | 流山電気鉄道…177 |
| 280 | | (索引「り」の語句)流鉄流山線…177 | (削除) |
| 281 | | (車両索引)江戸(客車)…31,48,60,68,70,137 | 江戸(客車)…137 |
| 281 | | (車両索引)チキ1500形(客車) | チキ1500形(貨車) |



(修正後の図です。)